



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018 年度 MOKA Rotary Club Weekly Report

Weekly Report

国際ロータリークラブ会長テーマ
RI 会長:イアン H.S. ライズリー

ロータリー:変化をもたらす

2017.10.19 No.2861

真岡ロータリークラブ会長テーマ
会長:金子 正男

ロータリー 愛



国際ロータリー第 2550 地区
真岡ロータリークラブ

- ◆司会 SAA 久保 賢司 君
- ◆点鐘 会長 金子 正男 君
- ◆ロータリーソング 我等の生業
- ◆会長挨拶 会長 金子 正男 君

皆さんこんにちは。今日は気温が急激に下がり、体調を崩されて欠席の方がいらっしゃるのではないかと心配しておりましたが、皆さん体調管理に素晴らしく長けておられて、本日も沢山の出席をいただきありがとうございます。



初めにお客様のご紹介をさせていただきます。本日の卓話者、永瀬克己様。同行の畠山様。ようこそいらっしゃいました。後ほど卓話をよろしくお願いいたします。

先日 13 日は真岡商工会議所ゴルフ大会が盛大に開かれました。当クラブから商工会議所会頭篠原さん、副会頭岡本さんを輩出しておりますので、沢山の皆さんに参加していただき誠にありがとうございました。その日も寒く大変でしたが、風邪をひいたという便りもございませんので、なんとか出来たのかなと感謝しております。

14 日にはホテルニューイタヤにて 2550 地区会長・幹事会、更に夜には RI 会長代理石黒様ご夫妻歓迎晩餐会が開かれ、石塚幹事と共に参加してまいりました。石黒 RI 会長代理には最近の IR の現況報告等々、大変ためになる話を聞かせていただきました。

続いて 15 日には 2550 地区の地区大会が開かれました。参加された皆さん大変長時間にわたりご苦労様でした。当クラブからも岡部、杉村、福原 3 名が表彰を受けられ大変光栄に思っております。さて地区大会で説明を受けました石黒様は、日本歯科医師学会では大変有名な方だと聞かされましたが、私は我がクラブの安田、頼近両先生の方が、素晴らしいのかなと思って見ていました。

さて来週 26 日は金子・石塚年度前半の大きな行事の一つであります老人・身障者合同スポーツ大会が開催されます。開催にあたりましては、柳田社会奉仕委員長初

め全員で成功させたいと思っておりますので、 TENT 張り等準備のご協力をお願いいたします。

次の 11 月 2 日の月初例会終了後、会長ノミニー指名委員会を開催いたしますので、56 代、57 代、58 代のパスト会長さんよろしくをお願いいたします。

考えてみますと早いもので、もうそんな時期にきたのかなと。当時のことを思い出すと、ミイラ取りが誰かに連れて行かれまして、ミイラになって帰ってきた思い出が脳裏をよぎります。会員の皆さんパスト会長の皆さん、決めるにあたって「愛」を持ってやさしく見守っていただければと思います。

この後卓話もございますので、このあたりで会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◆地区大会表彰 ～長寿会員表彰～

岡部 貞一郎 君

地区大会で老人表彰を受けてましてありがとうございます。ありがたいかどうか分かりませんが、段々若返ったらしいのですが、年を取ってしまい 89 歳 3 ヶ月になりました。皆さんのご支援をいただいて例会に出席して若さを吸収していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



杉村 久夫 君

いつの間にか 80 歳の声を聞き、あっという間に 84 歳になっていました。早いですね。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



～皆出席 25 年表彰～

福原 一郎 君

25 年の連続皆出席ということで表彰いただき、その伝達を受けました。私は 50 歳の時に入会させていただいて丁度四半世紀を迎えて、そろそろやめろよという声が聞こえてきそうな感じがしますが、健康を維持するため

MU 会場案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90 東武ホテルグランデ 小山中央 思水荘	真岡西 フォーシーズン静風 宇都宮 東武ホテルグランデ 宇都宮東 ホテルニューイタヤ	益子 益子カントリー しもつけ 石橋商工会館	宇都宮西 東武ホテルグランデ 宇都宮北 宇都宮グランドホテル	小山東 小山グランドホテル

会 長 金子 正男 幹 事 石塚 龍夫 会報委員 小林 勇一郎 大瀧 和弘 磯崎 和実 田崎 義典 田辺 義貴
事務局 〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203(真岡商工会館内) URL: <http://rc-moka.jp/>
TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510 e-mail: rc-moka@sweet.ocn.ne.jp



にも、もう少しさせていただいて頑張っていきたいと思えます。岡部さん、杉村さんのように長寿会員として表彰されるためにはまだなかなか大変ですが、皆様のご支援をお願いしながらロータリー活動をしていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

◆2018-2019 ガバナー補佐委嘱状授与



石田 順一 君

◆幹事報告

本日臨時理事会が開催され、渡邊会員、菱沼会員のご紹介で新入会員推薦状が提出されました。理事会で承認いたしましたので、本日本人に開示許可を取ったうえで皆さんに告知させていただきます。



石塚 龍夫 君

◆委員会報告

野球部 杉田 貞一郎 君



22日の地区大会に向けて本日予定しておりました練習ですが、悪天候のため中止とさせていただきます。また22日の地区大会の詳細につきましては土曜日に改めてご連絡させていただきます。部費未納の方は私または仲野会員まで宜しくお願いします。

社会奉仕委員会 仲野 新吾 君

来週26日に真岡市老人・身障者スポーツ大会が開催されます。お手元の資料にあるように開始時間は9時30分ですが、会員皆様には8時30分に集合していただきまして、自分達の TENT を張っていただきます。資料最終ページにある参加競技者名簿に記載のある会員の方は運動靴やジャージ等を用意いただきご参加ください。飲食担当の方は豚汁とカレー等を作ります。詳細は久保会長エレクトに聞いていただき、集合時間は追ってご連絡いたします。



岡本 俊夫 君

ロータリー会員というよりも商工会議所の方から皆さんに一言お礼を申し上げます、本来なら篠原会頭からお礼申し上げますところですが、検査入院のため本日欠席です。10月13日の真岡商工会議所ゴルフ大会に20数名の方にご参加いただきまして大変ありがたく感謝申し上げます。なお競技委員長として当クラブの齋藤君が熱心にご協力いただきましたことを申し添えておきます。どうもありがとうございました。



◆外部卓話

内閣府認証 NPO 法人抜苦ねっと 理事 永瀬 克己 様
～～『がんの常識が変わる』～～



ただ今過分なるご紹介をいただきました永瀬克己と申します。本日お招きいただきまして改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。私は先程の紹介にもありましたように元々教員です。文部省にいたこともありますが、教育と医療というのはあまりにも格差があって、この場でお話するのもたまたまそのような機会をいただいたということです。なお私は医療的にはドクターではございません。免疫療法については仙台のきぼうの杜クリニック院長大久保というものがおります。

なぜ私共が NPO に介入したかと申しますと、教え子、同僚、後輩の教員、あるいは先輩諸兄でがんになって亡くなる方が非常に多いんですね。今、がんの特効薬はないのですが、何か先進的な治療法は無いかと、自分なりに調べましたところ、確かに保険診療というのがありますが、それだけでは事足らず、更に色々調べたところ、たまたま自分の出身校である東北大学の外郭団体がそういったものも研究しているということで、初めて保険診療以外に自由診療というものがあるということを認識させていただきました。そして、免疫療法があるんだということを、全国津々浦々までご紹介させていただくためにこの場に立たされております。

ある時、がんと告知されたらどうしますか。平常心ではいられないと思いますね。自分に死が迫っている、目前まで来ている、そういう刹那の中で生きていかなきゃならない。そういう方々が今現状おいでになるということです。

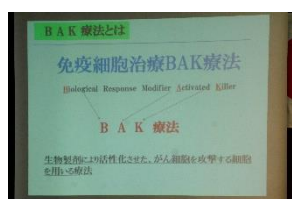
安田院長先生には仙台日赤病院で大変お世話になりました。日赤さんは非常に協力的な医療機関です。がんの専門治療が受けられる大きな病院に行きますと保険適用となる三大治療、すなわち一つは手術、もう一つは放射線治療、そして化学療法、抗がん剤治療が受けられます。この三つが厚生労働省で認めている保険治療です。

がん細胞の特徴・特色として3点ほどあります。一つは自立性の増殖。ヒトの正常な新陳代謝を無視して自立的に増殖を続け止まることが無いというものです。ちなみに人間の体は日々多くの空気や食物を取り込む一方で1日3千から5千の異物、つまりがん細胞が発生しています。これを白血球の中のリンパが駆除してくれています。がん化することはこの3千から5千の異物の一部に負けてしまうことです。二つ目は浸潤と転移です。がん細胞は周囲にしみ出るように拡がります。これが浸潤です。また体のあちこちに飛び火します。これが転移です。そして次から次へと新しいがん細胞を作ってしまいます。そして三つ目は悪液質です。がん細胞は他の正常細胞が摂取しようとする栄養をどんどん奪ってしまうため、栄養が行き渡らず身体が衰弱してしまいます。太っている人はあまりがんにならない。がんに罹患されている方はなかなか太れない。その所以は、正常細胞は体の中で生き続けていますが、がん細胞も体の中で生き続けるために、血液を呼び寄せてそのなかに入り込んで栄養を吸収しています。そのためがんの方は太れない。それが浸潤です。浸潤つまり血液の中に入り込んだがんの子供達が、血液の中を一周してしまう。人間の体は血液が一周するのに90秒しかかかりません。血液の中に浸潤していたがんの子供達が、どこかの臓器に定まってしまうといずれそこからがんが発生してしまう。それが転移です。

次に先程厚生労働省で認めているがんの三大保険治療について話をしましたが、近年厚生労働省もこの三大保険治療だけではなく寛解しないこともあるため、何か別の

治療法が無いかと検討する中で、やっと厚労省も動き始め、あと 4.5 年位かかると思いますが免疫療法を保険治療として容認する動きが出てきています。そのため免疫療法を施行している病院、クリニックには厚労省からかなり強い行政的指導が入っているということも確かです。三大保険治療のメリット・デメリットについてですが、一つ目は手術です。早期で原発巣だけであれば最も効果があります。これがメリットです。デメリットは手術により周りの正常な臓器を傷つけてしまう。二点目は放射線療法ですが、確かに重粒子線や陽子線を使って患者さんの負担が少なく治療は出来ませんがピンポイントしか効かないということ、すなわち例えば胃に原発巣があってそこに放射すれば一発で効きますが、原発巣の周りにあるがんの子供達、あるいは成長過程にあるがん細胞までは一気に打ち崩すことが出来ません。次に化学療法ですが、白血病などの血液のがんについては効果を上げているが、分裂する正常細胞まで死滅させるため副作用が強く、患者さんに多大な苦痛をもたらすと共に生活の質も大きく低減させます。抗がん剤治療で思うように寛解せず、その副作用から体がぼろぼろになってしまい、免疫療法に目を向ける方が非常に多くなっています。抗がん剤治療でぐだぐだになって、最後の砦として薬をも掴むつもりできぼうの杜クリニックに来院される患者さんが非常に多くなっているのも昨今の状況です。

今まではがん細胞のみの治療をしていました。ところが 2 年位前に、NHK のクローズアップ現代で免疫療法が取り上げられたため、我々には追い風かなと捕らえている向きがあります。がんにはがん細胞だけではなく、がん幹細胞があるという発見がなされました。今までのがん治療は、がん細胞をいかに殺すかという治療でした。ところが大きな変容があり、がんには幹細胞がある。がん幹細胞を殺さなければがん細胞は増え続けます。つまりがん幹細胞を死滅させる治療法が必要となりました。そこで自分の体のなかにある免疫、すなわちリンパを使っての治療がいいんじゃないかという結論に達している訳です。私ども NPO が、全国で免疫を使った療法をしている会社とか研究所を調べまして、最終的に辿り着いたのが免疫細胞「BAK 療法」です。免疫療法の種類は全国に九つ位あります。例えば樹状細胞療法、NK 細胞療法等々ですが、我々が辿り着いた免疫細胞「BAK 療法」は、自分の血液を 20cc 採血して、体の外で 2 週間かけ有効なリンパが 100 億個になるまで培養して、それをインターフェロン処理をして再び点滴で体の中に戻して、細胞レベルでがん細胞を攻撃させる治療法です。入院の必要がないことも大きな特徴の一つです。他の免疫療法はがん細胞に直接攻撃するため、正常細胞も殺してしまい副作用があります。ところが「BAK 療法」は、正常細胞を認識できるため正常細胞は攻撃せず、それ以外の異常な細胞、つまりがん細胞のみを攻撃するため副作用が無いことが最大の特徴です。これが我々がこの療法に着目した所以です。この優れた療法を全国にお伝えしたいために我々 NPO は活動しております。平成 22 年以前は、法令で国内での血液の輸送が出来なかったために、「BAK 療法」を受けるために、北海道から沖縄までの患者さんが、わざわざ仙台のきぼうの杜クリニックに泊りがけで来ていました。北海道や沖縄からきぼうの杜クリニック来て採血して、近くのホテルに 2 週間泊まって点滴を受けまた帰っていく。そういったサイクルでやっていたものですから患者さんは大変なご苦労がありました。しかし、平成 22 年の法令改正によってきぼうの杜クリニックと提携している医療機関であれば北海道や沖縄の患者さんも提携医療機関で「BAK 療



法」を受けられるようになりました。現在全国で 110 超の医療機関と提携し、今後も提携先を順次拡大予定です。栃木県は佐藤俊彦先生がやられている宇都宮セントラルクリニックと提携しています。

こちらの画像は試験管での結果ですが、マクロファージが最終的にどういう形でがん細胞や異物を取り囲んで、どのように攻撃しているかという画像です。こういう状況が 1 日 3 千から 5 千ヒトの体の中で起きています。免疫細胞「BAK 療法」を発見した、東北大学出身の海老名卓三郎先生の試験管でのデータです。下の画像は私が本当に好きな言葉で「自然の殺し屋」である NK 細胞 (= ナチュラルキラー細胞) ががん細胞を破裂させる画像です。この画像を見ると自分のリンパが体を守ってくれているんだと改めて思います。このバランスが崩れると、本当にがんとなり立ち向かう状況になります。



がんの再発はがん幹細胞が大きく関与しています。がんが発見された時点では、7 割の人に転移があるとされています。転移したがんは予後が悪く 80% 以上ががん難民となります。がんは治療後 2~3 年で再発することが多く、遅くともほとんどの場合 5 年以内に再発します。その後再発が認められなければ寛解となります。がん幹細胞つまりがんの製造工場は 1990 年代に白血病で初めて発見され、がんの転移の原因となる細胞と認識されました。ここでは改めて、がんはがん幹細胞を死滅させなければがんの再発リスクが残ってしまうんだということをお伝えしたいと思います。

次は「がん予防」には早期発見をということですが、CT 等には 1cm 以上のがんしか映りません。厳密に言いますと 7mm 以上が初めて画像に表れます。日本の医学会は画像に表れなければがんとは診断しません。そうすると 7mm 未満のがんは発見できないでしょうとなります。ところが 7mm 未満のがんでも累々と生き続け、30 回の分裂を繰り返して 1cm のがんになります。1cm になった時にははっきり言うてもう手遅れです。がんは 1cm になるまでに 10 年かかります。そこ



から約 3 年治療となりますがその期間に早期がん、進行がん、末期がんへと急激にがんが成長してしまいます。改めてこのがんの特徴の恐ろしさを強く認識する必要があります。ですから今元氣である、健康である我々にとっても、予防というものが非常に大事になります。よってこの 10 年間の期間にどこにがんの子供がいようが、それが血液を回っていようが免疫で殺してしまえば良いわけです。がんの子供が臓器に入り込む前つまり血液の中を流れている間に免疫療法で殺してしまう。そうすれば若干なりとも安心できるというわけです。色々な治療がありますが 3 大保険治療で奇跡的に生存している方もおられます。今は人生 80 歳、90 歳が当たり前の時代です。私もようやく 67 歳になりました。せめてあと 20 年位生きたいもんだと思います。但しその前に高血圧で倒れて終わらだろーと思っていますが、その時は安田院長先生よろしく願いいたします。最後になります。がんの子供達は血管を呼び寄せて血管の中に入って栄養を取っていますので、当然血管の中を流れています。それを調べる CTC 検査というのが、この 1,2 年発見されて、宮城県の日本遺伝子研究所でこの検査をやっております。この件につきましてご質問があれば今日一緒に来ております共生医学研究所の畠山までお問い合わせください。

このような機会を与えていただき、私元々教員でしたので国語の詩を引用してお礼申し上げます。本当に短い時間でしたがまだまだ話をしたい。元々教員なので最低でも45分、出来れば1時間半は喋りたいなど。



『ありがとうございます言えばとってもいい気持ち。ありがとうございます言われりゃもっといい気持ち。』

ご清聴ありがとうございました。

卓話者プロフィール

- ◆昭和25年福島県いわき市小名浜生まれ
- ◆東北大学教育学部卒業
- ◆福島県公立小学校教諭を歴任
- ◆福島県教育庁生涯学習課長等を経て校長として退職
- ◆NPO 法人抜苦ねっと理事就任

◆スマイルボックス報告

金子 正男君

先日は地区大会に参加の会員皆様大変御苦労様でした。岡部、杉村、福原会員が表彰され誠に目度とうございました。敬意を表します。永瀬様ガンにならない様に卓話宜敷くお願い致します。



平石 典嗣 君

石塚 龍夫君

地区大会に参加戴き大変ありがとうございました。又、地区大会で表彰されました岡部PP、杉村PP、福原PP誠におめでとうございます。本日は仙台よりNPO 法人抜苦ねっと永瀬事務局長をお招き致しました。卓話宜しくお願い致します。

久保 康夫君

地区大会お疲れ様でした。表彰を受けられました岡部さん、杉村さん、福原さんおめでとうございます。永瀬様卓話ありがとうございました。長生きし

岡本 俊夫君

たいので、しっかり拝聴させていただきます。永瀬克己様本日は御講話を頂き有難うございます。

福原 一郎君

先日の衆議院議員選挙の候補者引廻しでは、久保康夫様（仲野新吾君）、青木圭太さん、齋藤敏彦さん、豊田光弘さん、篠原泉様、田崎支店長、磯崎支店長、柳澤支店長お世話になりました。平和なくして平等なし、平等なくして平和なしそんな国になったらいいいですね。地区大会において25年の皆出席の表彰をいただきありがとうございます。

小林勇一郎君

地区大会お疲れ様でした。最後までいたら本当に疲れました。本日はNPO 法人抜苦ねっと理事永瀬様卓話ありがとうございます。気になる「がん」のお話拝聴させていただきます。

柳田 尚宏君

来週10月26日は老人・身障者スポーツ大会となります。会員の皆様のご協力を宜敷くお願い致します。

渡邊 佳寛君

永瀬克己先生ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願い致します。自分も3年前に胃に早期がんができたのでドキドキしながら拝聴いたします。

平石 典嗣君

野球部22日公式戦です。応援よろしく願いいたします。

◆スマイルボックス(10月19日現在)

前回までのスマイル繰越金	975,500
会員	23,000
ビジター	0
本日のスマイル合計	23,000
スマイル今期累計	998,500
前回までの米山繰越金	23,311
本日の米山	0
米山今期累計	23,311
合計金額	1,021,811

◆プログラム委員会
柳澤 正弘 君

◆出席委員会
太田 浩彰 君

月間予定

											11月																			
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
地区 野球 大会				老人 身障 者ス ポ―ツ 大会							月 初 例 会								内 部 卓 話	←	家 族 親 睦 旅 行	斗 六 訪 問	→				外 部 卓 話			

出席者

◆出席報告

出席委員会

太田 浩彰君

在籍 57名		出席免除者 2名（有資格者 2名 + 有理由者 0名）						
例 会 日	出席義務	事前 MU	事後 MU	出席者	内免除者	欠席者	出席率(%)	
補正後 9月28日	55	3	2	42	1	9	83.92	
本 日 10月15日	55	2	-	33	0	20	63.64	

月間出席率 (%)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
95.72	94.44	90.94									

※例会欠席は AM11:00 までに必ず事務局(TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510)までお知らせください。

本日の
プログラム

10/26
老人身障者
スポーツ大会

次の
プログラム

11/2
月初例会